

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会
第63回国民体育大会代表選手選考会
山梨県大会要項

- 1 主催 山梨県高等学校体育連盟・山梨県バスケットボール協会
- 2 主管 山梨県高等学校体育連盟バスケットボール専門部
- 3 協賛 (株)モルテン・(株)明星ゴム工業
- 4 期日 平成20年5月31日(土)・6月1日(日)、7日(土)・8日(日)、21日(土)・22日(日)
- 5 会場 富士北麓公園体育館 (A・Bコート 6/7(土)・8(日)男子)
(6/21(土)・22(日)決勝リーグ戦)
鐘山跡-センター総合体育館(C・Dコート 5/31(土)・6/1(日)女子・7(土)男子)
吉田高等学校体育館 (E・Fコート 5/31(土)女子)

6 参加資格

- (1) 平成20年度山梨県高等学校体育連盟に加盟し、日本バスケットボール協会に加盟・登録が完了した高等学校単一チームであること。
- (2) 平成元年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。
- (3) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (5) 転校後6か月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。
- (6) 大会参加資格の特例
上の6-(2)に定める生徒以外で、当該要項の大会資格を満たすと判断され、山梨県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
上の6-(2)但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
【大会参加資格の別途に定める規定】
学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、山梨県高等学校体育連盟会長に参加を認められた生徒であること。
以下の条件を具備すること。
ア 大会参加を認める条件
(ア) 山梨県高等学校体育連盟の目的及び永年の活動を理解し、それを尊重すること。
(イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
(ウ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていないこと。運営が適切であること。
イ 大会参加に際し守るべき条件
(ア) 山梨県高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
(イ) 大会参加に際しては責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
(ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- (7) 大会参加制限【外国人留学生の出場枠について】
学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
平成元年(1989年)4月2日以降に生まれた者とする。
短期留学生は除く。
人数は、エントリー(18名)の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。

7 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。
- (3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

- 8 参加人員 コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手18名
合計21名を上限とする。

9 競技規則

- (1) 現行の「日本バスケットボール競技規則」による
- (2) 参加チームを4ブロックに分けてトーナメント戦を行い、各ブロックの代表4チームによる決勝リーグ戦を行う。
- (3) 決勝リーグ戦においては、延長戦は行わない。
- (4) 引き分けの場合に次の試合は、シード枠上位のチームが勝ちに入る。
- (5) 決勝リーグ戦において、勝率同チームがある場合は次のとおりとする。
 2チームの場合は、相互の試合に勝ったチームを上位とする。
 3チームの場合は、決勝リーグ戦における該当の3チームのみの試合から得失点差により順位を決定する。
 上の9-(5)-で順位が決定できない場合は、該当の3チームの、決勝リーグ戦におけるゴールアヴェレージによりポイントの高いチームを上位とする。
 ゴールアヴェレージは、得点を失点で割って算出する。

10 表彰 男女とも3位までを表彰する。

11 組合せ 平成20年5月16日(金) 15:00 ~ 県立甲府工業高等学校五葉会館
各チームの部顧問または各チームの代表選手の抽選による。

12 競技上の注意

- (1) ベンチは組合せ番号の若いチームが、オフィシャル席に向かって右側とする。
- (2) ユニフォームは原則として、組合せ番号の若いチームが白色を着用する。
- (3) 第1・第2ピリオドに攻撃するゴールは、ベンチの反対側とする。
- (4) ベンチに入る人数は、大会要項8の参加人員とする。
- (5) 同一チームが1日に2試合ある場合は、そのチームの2試合目の開始時間を調整する。どちらかのコートでの試合終了時間が遅れた場合は、その終了時間から10分間の練習時間ととり、両コートの次のゲームを開始する。
どちらのコートの試合終了時間も早い場合は、定時開始とする。
- (6) コートでの練習は
前のゲームのハーフタイムは、3分前の合図までベンチと反対側のコートで練習してよい。
試合前のアップはベンチと反対側のコートで、試合中のハーフタイムはベンチ側のコートで練習してよい。
- (7) メンバー表は、前の試合の前半終了直後にオフィシャル席と相手チームに提出する。
- (8) 棄権する場合は、試合の3日前までに専門委員長と相手チームに必ず連絡する。
(無断で棄権した場合は、相手チームの交通費全額を支払うこととする。)
- (9) 試合の速やかな進行に心がける。

13 オフィシャル

- (1) 原則として、負けチームが次の試合を行う。但し、大会1日目と2日目は第1試合は、第3試合の両チームがそのコートを担当して行う。
第2試合から試合が開始されるコートは、第4試合の両チームが行う。
- (2) 大会3日目以降は、T.O部委員長の作成した要項に従い選出されたチームが行う。
- (3) 棄権する場合は、責任を持って次の試合のT.Oを行う。

14 諸注意 (次のことを、各チームで徹底して下さい。)

- (1) 各会場ともに、上下履きの区別を徹底する。
- (2) 貴重品の管理は、各チームで行う。
- (3) ゴミは、各チームで責任を持って持ち帰る。
- (4) 会場及び、会場校に迷惑がかからないように心がける。
- (5) 会場清掃について
朝の清掃を、2ゲーム目の4チームで行う。(大会初日を除く)
帰りの清掃を、最終ゲームの一つ前に終了した試合の勝ちチームが行う。

15 各責任者

会場	競技	記録・報道	会場
富士北麓公園	6月7日(土) 飯島 清樹(甲一)	関 博史(甲東)	澤田 昌宏(昭和)
	8日(日) 宮下 敏治(城西)	細田 智彦(吉田)	上村 洋一(塩山)
	21日(土) 飯島 清樹(甲二)	佐藤 朗(甲南)	植松 光和(北杜)
	22日(日) 飯島 清樹(甲一)	佐藤 朗(甲南)	宮下 敏治(城西)
鐘山スポーツセンター	5月31日(土) 秋山すみ江(日川)	宮久保純子(北稜)	嶋内 誠(航空)
	6月1日(日) 渡辺 晶(塩山)	佐藤 朗(甲南)	上杉 尚子(北杜)
	6月7日(土) 植松 光和(北杜)	佐藤 朗(甲南)	宮下 敏治(城西)
吉田	5月31日(土) 小河内照仁(甲西)	三枝 和博(昭和)	渡辺 文章(吉田)

連絡責任者 専門委員長 逆瀬川 慶 浩
 勤務先(甲府西高校) 055-228-5161
 携帯電話 090-8856-0588

15 シードについて

基本的な考え方

- (1) 県高校総体のベスト4を順に第1～第4シードとする。
- (2) 県高校総体のベスト8を順に第5～第8シードとする。第5～第8シードは以下のように決定する。

準々決勝で第1位に敗れたチームを第5シード、同じく第2位のチームに敗れたチームを第6シード、第3位に敗れたチームは第7シード、第4位に敗れたチームは第8シードとする。

(男子)

第1シード	日川	□	—	□	第3シード	日本航空
第8シード	吉田	□	—	□	第6シード	葦崎
第5シード	東海甲府	□	—	□	第7シード	甲府工業
第4シード	甲府昭和	□	—	□	第2シード	甲府西

(女子)

第1シード	吉田	□	—	□	第3シード	葦崎
第8シード	甲府商業	□	—	□	第6シード	日本航空
第5シード	上野原	□	—	□	第7シード	富士北稜
第4シード	巨摩	□	—	□	第2シード	富士学苑